

2024年度
愛知工科大学大学院工学研究科
博士後期課程

学 生 募 集 要 項

〔内部進学入試〕

〔一般入試〕

〔社会人入試〕



愛知工科大学大学院

2024 年度愛知工科大学大学院工学研究科博士後期課程

入学試験日程

入学試験区分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続
第1次募集	内部進学	9月22日(金) ? 9月29日(金)	書類審査	10月23日(月)	合格発表日 ? 11月10日(金)
	一般		10月10日(火)		
	社会人				
第2次募集	内部進学	1月26日(金) ? 2月2日(金)	書類審査	2月19日(月)	合格発表日 ? 3月8日(金)
	一般		2月13日(火)		
	社会人				

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

愛知工科大学大学院では、科学技術を通しての社会貢献や学問探求への強い意欲を有し、エンジニアとしての土台となる力（総合力、実践力）並びに先進的なモノづくりにつながる力（設計力、製作力）を身につけた次のような人を求めます。

1. システム工学分野の高度な研究開発に主体的に取り組もうとする人
2. 地域社会を支える科学技術の創造と発展に寄与する意欲のある人
3. 地球環境に配慮し、人間社会の持続的発展に寄与する研究開発をグローバルな視点から進めようとする人

2024 年度 大学院工学研究科（博士後期課程）
学 生 募 集 要 項

本学大学院工学研究科システム工学専攻では、次のとおり博士後期課程の学生募集を行います。

1. 募集専攻及び募集人員

専 攻	募集人員
システム工学専攻	3 名

※募集人員には内部進学入学試験による募集人員も含まれます。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者または次のいずれかの資格を 2024 年 3 月末日までに取得する見込みのある者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を有する者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を有する者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を有する者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を有する者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- (7) 大学院において個別の入学資格審査により認められた 24 歳以上の者

出願資格の（７）による出願について

出願資格の（７）による出願については、愛知工科大学大学院工学研究科において、個人の学習歴や実務経験等具体的内容について出願資格認定審査を行います。

1. 出願資格認定審査の書類提出期間

第1次募集 2023年9月8日（金）～9月15日（金）まで

第2次募集 2024年1月12日（金）～1月19日（金）まで

2. 審査を受ける者は、「3. 出願手続（2）出願書類」に加えて、次の書類を提出してください。この場合、入学検定料は出願が認められてから納付することとなります。

（1）出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）

（2）研究業績概要（本学所定の用紙）

注）出願資格認定審査調書の各事項にかかる証明書等を添付してください。

（例：大学等の在学期間がある場合は成績証明書を添付）

3. 出願資格審査の結果は、書類を受け取った日から出願受付開始日までに本人宛連絡します。

4. 出願資格を認められた者は、『3. 出願手続』に基づき入学検定料の振り込みを行ない、取扱銀行収納印欄に押印した「受験票・写真票」を本学に提出してください。提出の際、中央（本学で切り取ります）の位置で折り曲げることは構いません。

5. 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

6. 不明な点は、学務部学務課まで連絡願います。

3. 出願手続

（1）願書受付期間 第1次募集 2023年9月22日（金）～9月29日（金）

第2次募集 2024年1月26日（金）～2月2日（金）

（2）出願書類

出願書類等		備 考
1	入学願書	本学所定用紙（様式1）
2	受験票・写真票	本学所定用紙（様式2）
3	受験承認・推薦書	本学所定用紙（様式3）当該所属長が作成したもの。 ただし、社会人以外は提出を要しません。
4	研究（希望）計画書	本学所定用紙（様式4） パソコン等で作成したものを貼り付けても構いません。
5	修了（見込）証明書	出身大学長、学部長又は研究科長が作成したもの。 日本語又は英語以外で作成されたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。

6	学業成績証明書	出身大学長，学部長又は研究科長が作成した、学部及び大学院の学業成績証明書を添付してください。ただし、日本語又は英語以外で作成されたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。
7	入学検定料	35,000円 入学検定料は、本学所定用紙（様式2）の「振込依頼書」により、金融機関窓口（ATMは利用できません。）からの振込によって納入してください。 ただし、本学博士前期課程を修了し引き続き進学する者は免除します。

※注意事項

- ・ 出願に先立ち、希望する分野・領域の指導教員に相談したい場合は、下記の愛知工科大学学務部学務課にお問い合わせください。
- ・ 出願書類等の不備なものは、受理しません。
- ・ 提出後、出願書類等の返還及び記入事項の変更は、認めません。
- ・ 既納の検定料は、返還しません。
- ・ 出願書類に虚偽の記載事項が判明した場合は、入学後でも入学を取消すことがあります。

(3) 出願書類等の提出

出願書類は一括して、本学所定の封筒に入れ、本学学務部学務課へ持参又は郵送で提出してください。

なお、持参の場合の受付時間は、9時～17時（土曜日、日曜日及び祝日を除く）までとします。郵送出願の場合は、簡易書留で封筒に「出願書類在中」と朱書きし、締切日（当日消印有効）必着とします。

提出先・問い合わせ先

〒443-0047 愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2
愛知工科大学学務部学務課
電話 0533-95-1131

4. 各専攻の研究分野

入学願書記載事項のうち、志望分野及び教員名の記入にあたっては、別記「大学院工学研究科（博士後期課程）担当教員一覧（7～8ページ）」を参照してください。

5. 受験票の交付・試験日・試験会場

出願書類を受理した時は、受験票及び受験上の連絡等を出願締切り後に出願者あて送付します。受験票等が試験日の3日前までに届かない場合は、学務部学務課までお問い合わせください。

- (1) 試験日 第1次募集 2023年10月10日（火）
第2次募集 2024年 2月13日（火）
- (2) 試験場 愛知工科大学

- ・受験者個々の試験時間は、受験票送付時に通知します。
- ・受験生は、試験日当日、4号館図書館閲覧室集合し、係員の指示を受けてください。

6. 障害を有する者の出願にあたっての事前相談

本学大学院に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）がある者は、受験上及び就学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願受付開始前までに相談してください。

7. 入学者選考方法等

入学者の選考は、一般及び社会人ともに、志願者から提出された研究（希望）計画書に基づき、研究意欲、適正、人物等を含めた面接試問と学業成績証明書の内容等を総合判定し合格者を決定します。

8. 合格者発表及び入学手続等

- (1) 合格者発表 第1次募集 2023年10月23日（月）
第2次募集 2024年2月19日（月）
合否の結果は、本人宛郵便にて発送します。
- (2) 入学手続 第1次募集 合格発表日～2023年11月10日（金）
第2次募集 合格発表日～2024年3月8日（金）
入学手続に必要な書類は、「合格通知」に併せて送付します。

9. 入学手続時に必要な経費

入 学 金	150,000 円
（本学博士前期課程を修了し引き続き進学する者は免除します）	
授 業 料（前期分）第1年次生	260,000 円（年額 520,000 円）
教育充実費（前期分）	75,000 円（年額 150,000 円）
施 設 費（前期分）	50,000 円（年額 100,000 円）
行事費・保険料等（年額）	30,000 円

（注）納入された入学金についてはお返しできませんのでご注意ください。

10. 社会人・学生のための教育方法

本大学院では、就業と就学を両立させたい社会人大学院生が、働きながら学べるよう、社会人のニーズに応え研究学修に専念できる環境を提供します。

- 愛知工科大学大学院名古屋サテライトキャンパス（名古屋市熱田区伝馬町）を設置しています。

月曜から金曜までの夜間開講、土曜日の昼間による集中開講により、研究学修ができることを可能にします。

※ 名古屋サテライトキャンパスで受講を希望する者は、入学願書の「大学院設置基準第14条の教育方法の特例措置欄」の「希望する」を○で囲んでください。

- 愛知工科大学大学院（蒲郡市）において、週末講義や夏期集中講義など多様な授業形態を取り入れ、就業に配慮した受け入れ易い研究学修を可能にします。
- 長期履修制度により、正規の授業料で修業年限を超えて一定期間にわたる計画的な研究学修を可能にします。

11. 学生支援

（１）日本学生支援機構大学院奨学金

第一種（無利子）８万、１２．２万円より選択

第二種（有利子）５万、８万、１０万、１３万円、１５万円より選択

※必ず採用されるとは限りません。貸与期間は、採用年度から標準修業年限までです。

（２）ＴＡ（ティーチング・アシスタント）制度

本制度は、博士後期課程に在学する大学院生が授業の教育的補助業務を行うことにより、工学部学生等に対してより高い教育効果を上げるとともに、博士前期課程在学中にＴＡを経験することによって、教育・研究の指導者となるためのトレーニング、そして経済的支援を受けることを目的とした制度です。

（３）ＲＡ（リサーチ・アシスタント）制度

本制度は、本学の教員等が研究代表者として行う特定の課題やテーマに取り組む研究プロジェクト等の効果的推進、研究体制充実及び若手研究者の育成を図るため、博士後期課程に在学する大学院生を対象として研究活動に必要な補助業務を行わせることにより、研究力の更なる向上と併せて、経済的支援を受けることを目的としています。

12. 個人情報の取扱い

出願時および入学手続き時に提出された氏名・住所・連絡先・その他の個人情報につきましては、愛知工科大学大学院において責任を持って厳重に管理いたします。

利用につきましては、次のとおりその目的の取り扱いに従って利用することとし、運用については外部に漏れることのないよう厳格に行うこととします。

- （１）教育研究指導上、必要な事項に利用
- （２）学生生活指導上、必要な事項に利用
- （３）進路・就職指導上、必要な事項に利用
- （４）保証人等との必要な事項に利用

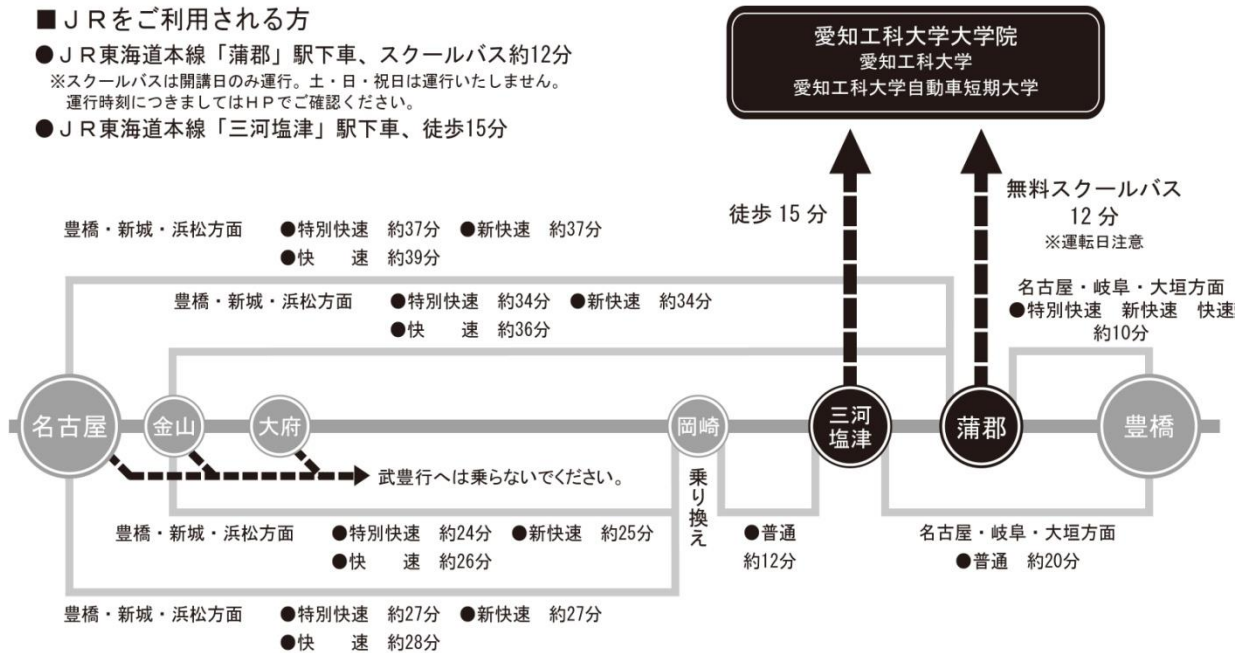
なお、個人情報を第三者へ提供する場合は、以下の場合に限って提供いたします。その際も、次の目的の取扱いに従い、運用については外部に漏れることのないよう厳格に行います。

- （１）インターンシップ受講生となった場合、当該受入機関への個人情報の提供
- （２）学内で急病となって医療機関に搬入された場合、その医療関係者への個人情報の提供
- （３）学外研究機関にて研究活動を行う場合、当該受入機関への個人情報の提供
- （４）学生個人成績の保証人への郵送通知
- （５）修了時に同窓会組織への情報提供
- （６）授業・課外活動・各種行事における写真類の本学広報物・本学ホームページへの掲載
（個人が特定できるものについては、改めて本人の了解を得ることとします。）

愛知工科大学大学院へのアクセス

■JRをご利用される方

- JR東海道本線「蒲郡」駅下車、スクールバス約12分
※スクールバスは開講日のみ運行。土・日・祝日は運行いたしません。
運行時刻につきましてはHPでご確認ください。
- JR東海道本線「三河塩津」駅下車、徒歩15分



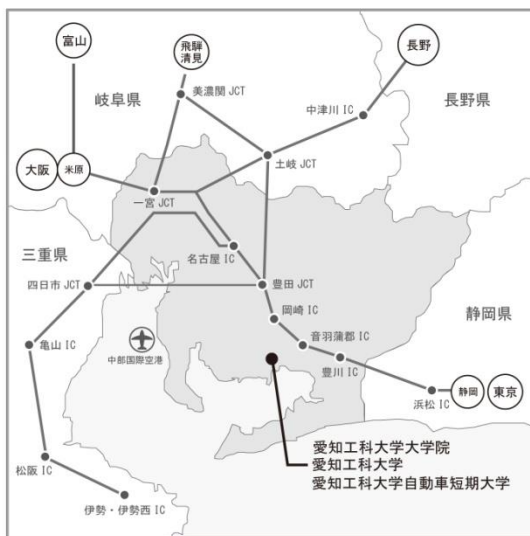
■最寄り駅からのご案内

- ①JR東海道本線「三河塩津」駅下車
名鉄蒲郡線「蒲郡競艇場前」駅下車
- ②「三河塩津」駅「蒲郡競艇場前」駅北口から直進。
- ③突き当りを右折し、薬局を左折。
- ④塩津小学校西側を直進し、サークルKを右手に見て左折。
- ⑤「野川」の交差点で北側へ渡り、左方向へ直進。



■自動車をご利用される方

- 東名高速道路「音羽蒲郡IC」下車
音羽蒲郡道路(有料)経由
↓
県道383号線 約25分 (13km)
- 東名高速道路「岡崎IC」下車
国道26号線
↓
国道248号線
↓
県道383号線 約35分 (18km)



別 記

2024年度愛知工科大学大学院工学研究科博士後期課程

担 当 教 員 一 覧

システム工学専攻

専門分野	職 名	指導教員名	研 究 課 題
機械力学 振動学	教 授	村 上 新	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイナミックダンパーの非線形振動特性 ・ 磁気浮上回転体の安定性解析 ・ 柔軟構造物の高速精神位置決め制御 ・ 楽器の発音機構による音響特性の変化
パワーエレクトロニクス ロボティクス メカトロニクス 医用システム	教 授	永 野 佳 孝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術ロボット ・ 手術シミュレータ ・ 医療画像支援システム ・ VR システム
福祉ロボット ロボットインターフェイス	准教授	裴 艶 玲	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリアシストロボットに関する研究 ・ Human Robot Interface に関する研究
経営情報 インターネットマーケティング	教 授	加 藤 高 明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化および社会に貢献するデジタルコンテンツの制作
音声情報処理	教 授	實 廣 貴 敏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声認識技術を軸とした音声対話システムに関連する技術の研究 ・ 音声認識の前処理としての雑音抑圧手法、音声認識精度の向上、新たな音声対話システムの提案 ・ 音楽アプリ提案 ・ 車などの警笛音認識や走行音認識とその応用